

(別添資料1)

事業所名 トーマス・ジュニア入間教室

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024 年

10 月

23 日

法人 (事業所) 理念	障害と共に生きる Live with disabilities		
支援方針	日常生活や社会生活を円滑に営めるよう、様々な活動体験を通して基本的な生活習慣や社会的な能力などを養います。また 楽しみながら分かりやすく学べる場として個別、集団で支援を行います。		
営業時間	平日 学校休業 日	11 9 時 30 分から 18 16 時 30 分まで	送迎実施の有無 あり なし
本人支援	健康・生活	*自ら健康で安全な生活が作り出せるよう、身の回りを清潔にしたり食事・衣類の着脱・排泄等の生活に必要な基本的技術を獲得できるよう支援を行います。 *健康的な心と体により日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的・精神的な社会的訓練を行います。 *様々な活動・遊びを通して学習できるような環境を整え、障害の特性に配慮しながら時間や空間の分かりやす構築化を行います。	
	運動・感覚	*姿勢・運動・動作の基本的技能の向上を目指します。日常生活に必要な動作の基本、姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善及び習得ができるよう支援を行います。 *保有する視角・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるような活動や遊びを通して支援を行います。 *感覚や認知の特性(感覚の過敏や鈍麻等)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。	
	認知・行動	*感覚や認知の活用において視覚・聴覚・触覚等を十分に活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促しながら環境から情報を取得できるよう支援します。また必要なメッセージを選択し行動に繋げるという一連の認知過程の発達の支援も行っていきます。 *物の機能や属性、形・色・音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることにより、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援を行います。 *認知の偏り等の個々の特性に配慮しながら、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援を行います。	
	言語 コミュニケーション	*具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつけることにより言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。 *人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を目指し、個々に配慮された場面で共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。 *指差し・身振り・サイン・手話・音声・文字等の多様なコミュニケーション手段を活用して、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援を行います。	
	人間関係 社会性	*活動や遊びを通して集団に参加するための手順やルールを理解し、集団活動に参加できるよう支援を行います。 *役割分担やルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、気持ちや情動のコントロールができるよう促しながら社会性の発達支援を行います。 *人との関係性を意識し信頼関係を基盤としながら、良好で安定した関係を形成するための支援を行います。	
家族支援	心理的・物理的な支援を通してご家族様の負担を軽減(レスパイトケア等)し、安心して子育てができる環境を整えていきます。	移行支援	地域の人との交流をしたり、学校や就労先との情報交換を説教的に行います。
地域支援・地域連携	お子様・保護者様が必要とする支援を地域で受けられるよう、教育機関・自治体などお子様・保護者様が関わる機関との関係を構築していきます。	職員の質の向上	*グループ全体での研修・活動報告(勉強会)を定期的を実施。 *外部講師による虐待研修・勉強会をZoomにて毎年1回実施。 *事業所内での虐待研修・避難訓練・防犯対策(訓練)等を実施。 *事業所内で定期的な活動内容のミーティングの実施等行っています。
主な行事等	・避難訓練(年2回)・夏祭り・ハロウィンパーティー・クリスマス会・初詣・お楽しみ企画(年3回)・外出活動・季節に合った企画を毎月開催		